

未来キッチンイラストコンテスト伊藤さん(河辺小5年)優秀賞

引き出しに畑、新鮮野菜いつでもー



クリナップ(東京)が開催する「未来キッチンイラストコンテスト」で、河辺小学校5年の伊藤叶さん(11)が高学年部門で優秀賞に選ばれた。同小は2年連続で学校団体賞を受賞した。(板橋美羽)

コンテストは日本初のシステムキッチンを作ったクリナップが、システムキッチン誕生50周年を記念し2023年にスタートした「未来キッチンプロジェクト」の一環。小学生を対象に、あったらいいと思うキッチンのイラストと、イラストに合わせた解説文で審査する。2回目の今回は全国から3641点応募があった。

伊藤さんは、引き出しの中に畑があり、いつでも新鮮な野菜が収穫できるキッチンを描いた。野菜は引き出しに入っているときは小さいが、取り出すと普通のサイズになるという。このキッチンを考えてきっかけは、畑作業をする母親の梢さん(46)の姿を見てきたから。広い土地は必要なく、天候に左右されずに野菜を収穫することができるようになるという期待を込めた。

伊藤さんは普段から絵を描くことが好きで、キッチンのアイデアは時間がかからず思いつき、イラストを完成させるのも大変ではなかったという。

「選ばれるとは思っておらず、入賞したと聞いて本当にびっくりした。両親から褒められてうれしかった。このキッチンが使えるようになったら、自分で野菜を育てて収穫し、野菜炒めを作ってあげたい」と笑顔で話した。



河辺小2年連続 学校団体賞受賞



学校団体賞は、優秀な作品を応募した学校・団体に贈られる賞で全国で5校が選ばれる。2年連続受賞は河辺小のみ。全校児童が2年連続で応募したことや、計4回の審査で残る作品が多かったことが評価された。

コンテストへの応募は佐佐木良博校長の発案。佐佐木校長によると、▽家にある身近な題材で家族の協働活動ができる。▽自分たちが生きていく未来の在り方を考えるきっかけになる▽絵と文で自分の思いを伝える表現力を鍛えられるーと考え、学校全体で参加しようと呼びかけた。

1月31日に同小体育館で表彰式が行われ、代表児童が賞状を受け取った。佐佐木校長は「2年連続で学校団体賞に選ばれたのは光栄で、保護者との協働のたまものだ。『かわべっ子』が変化の激しい世の中を生き抜く力をつけ、明るい未来の一翼を担ってほしい」と話した。

(令和7年2月3日(月)秋田魁新聞より一部抜粋)